

安佐市民病院跡地の活用方針の検討について

1 安佐市民病院跡地活用検討協議会の役割

安佐市民病院の主要な機能の移転により生じることになる跡地について、その活用方針を検討、作成するため、地域の代表者の意見を聴き、協議・調整する。

(検討対象区域は別紙のとおり)

2 検討の進め方

- (1) 平成28年7月を目途に活用方針案を作成するため、安佐市民病院跡地活用検討協議会を今後、概ね月1回ペースで開催する。
- (2) 協議を円滑に行うため、議論の過程で調査等が必要となった場合は、協議会は市に調査等を要請できる。

3 検討の視点(例)

どのような観点から地域の活性化に資する跡地活用を考えるか。

① 病院周辺地域を今以上元気にする。

病院の主要な機能が荒下地区に移転した後に、現病院周辺地域の人を集める力が衰退するのではないかという周辺住民の方々の不安を払拭することはもとより、今よりも、さらに地域の魅力向上、活性化につながる機能を検討してはどうか。

② 可部自治連からの提言を踏まえる。

「民間商業施設とホールや図書館などが一緒にある施設」、「看護系、医療技術系の学部を持つ学校」としての活用の可能性を検討してはどうか。

③ 跡地活用による活性化効果を安佐北区全体に、さらに周辺市町へも及ぼす。

可部地域だけでなく、白木、高陽、安佐地域の住民、さらには安芸高田市、安芸太田町、北広島町等県北西部の住民にとって有益で、地域の発展に寄与する機能を検討してはどうか。

検討対象区域

